

大成ロテック
北信越支社長たむら ひでひろ
田村 秀弘氏

支社長



分け隔てなく接し課題解決

北信越支社に名称を変更し、体制強化を図った2019年4月に営業部長兼工事部長として赴任。以来、支社長を安定化すべく前支社長と二人三脚で受注拡大に尽力してきた。成長戦略をしっかりと

固めて、受注拡大を目指すという難しい仕事に組織の長として改めて取り組む。「赴任以来、受注規模をいかに大きくするのが課題であり、それは今も変わらない。社員全員が前を向いて楽しく

仕事ができる環境をいかにしてつくるか。そのことを強く意識して支社管内の職員と分け隔てなく接して話を聞くことを心掛けていく。社員が話しやすい環境をつくり、課題を探索し、一つ一つ解決して

土強靱化のための5か年加速化対策の関係で公共事業は増加していくはず。公共工事の受注拡大に努めるとともに、民間を開拓する。情報収集に努め新設工場の外構工事などの受注を増やしたい。建築工事受注の体制も整備する。当支社管内で当初の事業化となる中小水力発電事業にも注力していく」

若手時代に中部地方建設局（現・中部地方整備局）の国道4車線化拡幅工事を担当。「苦労したが無事に完成を見ることができた。この世界で生きていく自信になった」。

（4月1日就任。山梨大学工学部卒。趣味は釣り。袖奈川出身、61歳）

「高速道路や国発注案件の受注は増えてきた。政府の国